

平成21年度一般会計補正予算説明資料

7 款 商工費  
 2 項 工鉦業費  
 3 目 中小企業振興費

経済通商総室[企画調査チーム] (内線: 7890)  
 (単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 次世代電気自動車共同研究事業	0	13,000	13,000	13,000				
トータルコスト	0	15,486	15,486	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.3人	0.3人	協議会の組織化、運営				

【国1次補正「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」充当事業】

説明

1 事業の概要

EV(電気自動車)ベンチャー企業等の誘致や、次世代電気自動車生産時に県内企業がサプライヤーとなることを目指し、(株)SIM-Drive(※)が実施する、電気自動車量産モデル車の共同開発事業への参加を目指す企業を支援する。

(※) (株)SIM-Driveとは

慶応大学清水教授の研究成果(電気自動車「Eliica(エリカ)」)を事業化するために設立されたEVベンチャー  
 《設立》2009年8月20日 《所在》東京都千代田区 《資本金》44,000千円  
 《株主》福武総一郎(ベネッセ会長)、(株)クリーンクラフト(知財管理)、(株)ガリバーインターナショナル(中古車販売)、(株)ナノプトクス・エンジン、慶応大学、丸紅(株)等

2 事業内容

○次世代電気自動車の共同開発事業への参画支援(13,000千円)

(1) 支援内容

(株)SIM-Driveが実施する共同開発事業への県内企業参画に当たり、必要となる共同研究費の一部を補助。(事業期間: H22.1~H23.3)

(2) 支援手法

共同研究に参画する企業で構成された任意団体(鳥取県次世代電気自動車共同研究協議会(仮称))への補助。なお、(株)SIM-Driveが実施する共同開発事業には同協議会が「一団体」として参画し、同社へ負担金(20,000千円)を拠出。

[補助率] 2/3以内

[上限額] 13,000千円(共同研究に必要な経費⇒20,000千円)

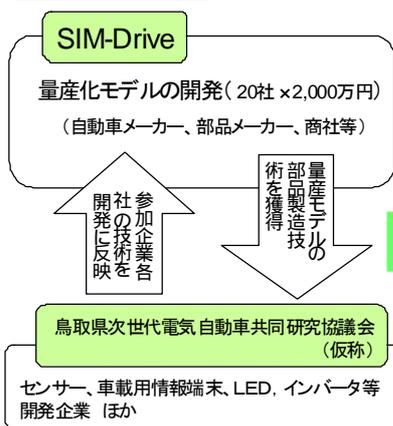
[補助先] 鳥取県次世代電気自動車共同研究協議会(仮称)

(※参画企業は独自の研究開発要素を持ち寄り、100万円の参加負担金を拠出)

〔期待される主な効果〕

- ・EVベンチャー企業の誘致。
- ・先行試作車の開発に当初から参加することにより、次世代電気自動車の量産時に部品供給企業となるチャンスが拡大。
- ・共同研究に関わった企業を中心として、県内に自動車関連産業が集積。

\* 参画スキーム



\* 【参考】Eliica(エリカ)



《仕様》8輪駆動、4人乗  
 55kWhの電池で300km走行  
 最高速度370km/h 走行  
 《他EVと比較した優位性》  
 ・電力量当たりの走行距離が長い  
 ・価格が安価  
 ・独自構造による広い空間

先んじて、新たな自動車産業のサプライヤーとして成長